

令和5年度 第1回かほく市行政改革推進委員会 会議録

日 時	令和5年9月29日（金） 10時00分～11時07分
場 所	かほく市役所庁舎 302会議室
出席委員	坂野委員、南委員、西田委員、遠田委員、元木委員、楠委員、桶谷委員、森下委員、竹本委員（9名） ※欠席：中嶋委員、上村委員、東委員（3名）
事 務 局	総務課【竹田課長、折戸課参事、新田主幹、山本主査、石野主査】
議 題 等	1. 坂野会長あいさつ 2. 油野市長あいさつ 3. 諮問 4. かほく市行政改革の推進体制及び実施スケジュールについて 5. 令和4年度における行政改革実施報告について 6. その他
会議資料	・かほく市行政改革推進委員会設置条例 ・かほく市行政改革推進体制 ・行政改革推進委員会 今後のスケジュール ——以下、事前配布済み資料—— ・令和4年度第4次かほく市行政改革実施報告書

○かほく市行政改革の推進体制及び実施スケジュールについて

- ・事務局より、かほく市行政改革の推進体制及び今後のスケジュールについて、会議資料に沿って説明を行った。

○令和4年度における行政改革実施報告について

- ・事務局より、令和4年度における行政改革実施報告として、目標を達成した中で特に良かった項目や目標達成に至らなかった11項目、不実施と判断した3項目についての実施内容や実施期間における主な実績、目標達成に至らなかった要因等の説明を会議資料に沿って行った。

○その他

- ・事務局より、次回の会議の開催予定と報酬支払についての説明を行った。

【主な質疑応答】

（委員）

- ・福祉巡回バスや老人福祉センターバスの外部委託について、現在はシルバー人材センター

に運転業務だけを委託しているとのことだが、何か不都合があるのか。また、包括的に外部委託するというのは具体的にどのようにするのか。学校教育課の運転業務も具体的にどのようにするのか。

(事務局)

- ・福祉巡回バスや老人福祉センターバスは現在、シルバー人材センターに運転業務をお願いしている。その中で、現状の運転手の高齢化や昨今の運転手不足により運転手の配置計画を組むことすら難しくなっている現状がある。今後はそれらを見据え、車両のメンテナンスや運行管理、運転手の配置などを包括して民間事業所へ委託できないか検討しているところである。

- ・スクールバスの運転業務は、市が直接運転手を雇用しているが、今後の運転手不足を見込み、民間へ委託できないか、費用対効果も考えながら慎重に検討している。

(委員)

- ・防災体制の強化について、先日、研修で岐阜県の郡上市役所へ行き防災について勉強してきた。郡上市ではこれまで何度も大きな災害に見舞われ、その度に防災体制を見直してきており、その中で自助・共助・公助の割合が自助7・共助2・公助1になったとのことであった。かほく市にも各地区で自主防災組織があり、小中学校単位で訓練を行っているが、実際に災害が発生したときに自主防災組織がしっかり機能するかどうか不安がある。これまでかほく市では目立った災害がなく、自主防災組織や市役所も切羽詰まった経験が少ないと考える。自分のことは自分で守るのが原則であり、自主防災組織も自助、共助できるように力をつけていきたいが、そのための支援や援助に市の協力を頂ければと思う。

(委員)

- ・昨日、市の防災の研修に参加させていただいた。今まで、民生委員として独り暮らしの方の家を回っていても、実際に災害が起きたらどうしたらいいのだろうという不安があったので、研修に参加できて良かった。町内では火災を想定した訓練などをしていたが、地震や台風を想定した訓練の必要性を感じた。今後、市や町会長さん、防災士や民生委員で連携し取り組んでいけるような研修があれば良いと思った。

(事務局)

- ・担当である防災環境対策課に伝えさせていただく。

(委員)

- ・市民のスポーツ実施率について、スポーツの事業は最初は皆さん参加して頂けるが、しばらくするとマンネリ化し、参加者が固定化され参加率が伸びていかない。来年には新しい体育館ができるので、それを契機に若者や高齢者がスポーツに参加できるような機会をつくれないか。

(事務局)

- ・総合体育館の工事は順調に進んでいると聞いている。また、体育館建設を契機にスポーツコミッションというものを立ち上げ、スポーツを通じて地域活性化を図ることと聞いている。担当課にもこういう提案があったことを伝えさせて頂く。

(委員)

・その事業は社会福祉協議会を中心として行っている。会員は6,600人程度おり、その中に元気な方が沢山いる。そのような方にスポーツに参加してもらうよう、教育委員会と社会福祉協議会が組織的に連携するようなことがあっていいのではないかと考える。

(委員)

・ブラチナ体操について、私の区にも体操グループがあり、区としてもその運営を支援するため助成金を出している。ブラチナ体操は健康維持には欠かせない事業だと感じる。身体的な健康はもちろんだが、精神的な健康にも役立つと思うので、まだ体操グループがない地区にはグループの立ち上げを勧めていきたい。この体操が良いということがしっかり認知されているかも気になるので、市には広報に努めて頂きたい。

(委員)

・私も体操をして、非常に良いものだと感じた。町内のグループでは口コミで良いと聞いて参加した人もいと聞く。体験者の生の声を広報に活用していければ良いのではないかな。

(委員)

・私も体操をしているが、やればやるほどその効果を実感している。高齢者にとって、参加者が増えれば増えるほど良い事業になると思う。

(事務局)

・この事業はコロナの影響もあり、参加者数が目標に達成できなかった事業である。グループの立ち上げや、PRについての意見を頂いたので担当課に伝えさせて頂く。

(委員)

・防災関係について、冬に寒波による七塚地区の断水が発生したが、その中で得たものや課題などはあるか。

(事務局)

・1月下旬から記録的な寒波が続き、七塚地区で断水が発生した。一番の原因は空き家での水道管の破裂による漏水であると考えており、現在、専門機関で原因の検証や今後の対策などの検討をおこなっているところである。重要なライフラインである水道が途絶えたということで、今後絶対にあってはならないということで、しっかり取り組んでいきたい。

(委員)

・民生委員として、町内を回っていて多く頂く声を伝えさせて頂く。一人暮らしの高齢者でかかりつけ医に行く際、福祉バスでは行けないため、市からのタクシー券を使用してタクシーで受診している方が多く、その事業は非常に喜ばれている。しかし、券の配付が年12枚なので受診に往復で2枚使うと年に6回分ということになるため、その倍の24枚あれば1年間、安心して受診できるとのことである。予算の問題もあるかと思うが、この声は非常に多く聞く。

・もう一つ、高齢者で買い物へ行く交通手段がない方が多く、その方たちを支援する取り組みを求める声も多く頂く。

(事務局)

- ・タクシー券について、県内のなかでもかほく市は充実しているほうだと認識している。買い物支援についてのご意見も併せて、担当課へ伝えさせて頂く。

1 1 時 7 分 会 議 終 了